

出雲崎町 公民館だより

第485号

平成 29 年 10 月 6 日発行

編集：出雲崎町公民館

TEL 0258-78-2250

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

10月号

公民館レポート



良寛さんの「優しい心と美しい字を」

9月8日(金)、「第13回良寛さんの心書道展」の審査会を開催し、16日(土)から24日(日)まで中央公民館で全作品の展示を行いました。

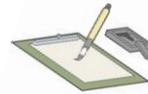
今年はお出雲崎小学校 178 点、お出雲崎中学校 84 点の計 262 点の応募があり、気持ちのこもった力作が並びました。特別賞は下記の皆さんが受賞しました。

○お出雲崎町長賞

下條 優大さん(中3)

○お出雲崎町議会議長賞

中澤 真依さん(小6)



○お出雲崎町教育長賞

服部愛未さん(小1)

安達悠人さん(小2)

長谷川麻子さん(小3)

長谷川桃子さん(小4)

高橋航汰さん(小5)

小川桂司さん(中1)

細木小雪さん(中2)



出雲崎町長賞

出雲崎町議会議長賞

新たな良寛遺墨が収蔵されました!!

この度、良寛記念館では以下の3点の良寛関係の資料をご寄贈いただきましたのでご紹介いたします。

1. 鶴巻三郎作『良寛てま里像』紙塑製 三条市在住の金子建一氏よりご寄贈いただきました。作者の鶴巻三郎は日本初の人形作家で日展会員、三条市名誉市民。
2. 良寛弟由之 良寛宛書簡『此間のさむさ』燕市在住の神保 博氏よりご寄贈いただきました。書簡には良寛、由之の生活、持病のことなどが書かれています。また文末には、良寛に逢いに行きたい気持ちを詠った『雪ふれば』の和歌が添えられおり資料的、文学的にも貴重な書簡です。
3. 権田雷斧書『良寛詩屏風』六曲一双 出雲崎町在住の山田寛一氏よりご寄贈。大正大学学長を務め、良寛堂建立に尽力した出雲崎町出身の僧侶権田雷斧が良寛の漢詩を書いた大作。太筆で書かれた豪快な字で、圧倒的な存在感があります。良寛記念館では定期的に展示品の入れ替えを行いますので、是非足を運んでいただき作品をご覧ください。



紙塑(しそ)の柔らかい質感は、良寛の温かな性格をよく表現しています。



兄良寛の病状を窺い、その改善についてアドバイスをしています。



良寛の漢詩が六曲一双(計12曲)に書かれています。

10月の公民館事業開催予定

○ちぎり絵教室 10日(火)

○第27回奥の細道天の河俳句大会 13日(金)

○さわスポ教室 17日(火)

○ノーメディア・デー 10日(火)、20日(金)、30日(月)



公民館関係イベント開催予定

未来の夢子ども体験講演会

題 やってみなきゃわかんないっしょ

国内外の第一線で活躍されている方から講演していただく、未来の夢子ども体験講演会。今年は、1年半で偏差値を40上げ、慶應義塾大学に合格し、「ビリギャル」のモデルとして注目されている小林さやか氏に、自身の大学受験を通して得た経験などをご講演いただきます。なお、当日は一般席も開放しますので是非お越しください。(10月24日(火)開催 会場 町民体育館 開場 13:30 開演 14:00)



小林さやか
1年半で偏差値を40上げて、慶應義塾大学に現役合格した話



生涯学習フェスティバル



11月2日(木)、3日(祝)の2日間、芸術・文化の祭典『生涯学習フェスティバル』を開催します。

今年も「作品展示」や「ステージ発表」「健康づくり」等、盛りだくさんの内容となっておりますので大勢の皆さまのご来場をお待ちしています。

詳細日程等は、後日配布する案内チラシをご覧ください。



昨年度のステージ発表

北国街道妻入り会館

北国街道妻入り会館では、9月17日(日)から11月20日(月)までの間、「出雲崎の酒造りと酒器」と題した展示をします。

最盛期には5軒の酒蔵があった出雲崎の様子を写真やお猪口約150点の資料で紹介していますので、是非ご覧ください。



図書館だより(新刊案内)



中央公民館



地獄の犬たち…深町秋生 著

東京のやくざ組織・東鞘会に所属する兼高昭吾は、弟分の室岡と沖縄に飛び、ターゲットの喜納修三を殺害した。その夜、一人になった兼高は激しく嘔吐する。実は兼高は警視庁組対部に所属する潜入捜査官だったのだ。



嘘をつく器死の曜変天目…一色さゆり 著

次期人間国宝候補の陶芸家、西村世外の窯元に就職した早瀬町子。世外の息子の久作と、長く世外に仕える源田と三人で窯元を守っているが、世外が久作に跡は継がせないと言ったことで父子のあいだには深い溝ができていた。



盤上の向日葵…柚月裕子 著

さいたま市天木山山中で発見された白骨死体。唯一残された手がかりは初代菊水月作の名駒のみ。それから4ヶ月、叩き上げ刑事・石破と、かつて棋士を志した若手刑事・佐野は真冬の天童市に降り立つ。



今日すべきことを精一杯! 105歳医師の原点

…日野原重明 著

「将来のことをいわずに思い煩わず、今日すべきことを精一杯やりなさい」——。医師として多くの患者と交流し、その最期を見届ける中で、身体的に健康であるというだけでなく、人生の充実とは何かを追い求めてきた日野原先生。

※この他の新着図書は、新着一覧を中央公民館・町立図書館(海岸公民館)それぞれに掲示しておりますのでご覧ください。



秋・芸術、文化への誘い(いざな)

公民館長 佐藤 亨

秋真っ盛りである。天空を抜ける青空とゆったりとした大海原は、秋ならではの感がある。この時節は芸術展や文化講演会などが各地で催されている。ゆつくり眺め、また、話を聴くのもこの時節の趣きといってもいい。時間を見て、2、3の企画展に足を運んだ。

一つは、少し早い時期になるが『加山又造』展(県立近代美術館)があった。加山又造は亡くなる前年の2003年に文化勲章を受章している。今回の企画展は、生誕90年として「生命の煌(きらめ)き」をテーマに開催された。



「猫」(写真)

桜に月夜を配した優美な作品「淡月」、日本伝統の大和絵などを再構成した屏風絵「紅白梅」そして、敵対の構えを見せるカマキリとそれをじーっと見つめるネコを鮮やかな色彩で描いた「猫」(写真)などの素晴らしい作品が並んだ。加山又造のさまざまなジャンルの作品は、「革新的ながら生命感あふれる美しく華麗な日本画、そして、卓越とした技法で独自の芸術を確立した」と評されていた。

県立歴史博物館では『上杉

謙信・武田信玄 川中島の戦い』

展が開催中である。

豊富な関係資料の展示を観て戦国時代に想いを馳せることができる。以前、同館では「天地人」や「上杉文化」を取り上げていたことがある。



軍配【上杉】

今回は、「謙信・信玄の実態や伝承の広がりを含めて、ゆかりの作品からあらためて考えてみたい(矢澤健一館長)」という展示の色合いを出している。

例えば、「川中島の戦い」は1583年(天文22)から1584年(永禄7)までの5回あったと言われているが、今回展示された古文書からは、その後も両雄は北信濃で衝突していたようだとなん見解を見せている。いづれにしても、文書類も多いので、解説を聴くか図録を参考にすると一層理解が深まると感じた。

9月22日には長岡良寛の会主催で、出雲崎でもお馴染みの元二松学舎大学教授・源川彦峰氏の講演会『良寛・鵬齋の共通点』があった。



良寛の絵

源川先生の獨創性からくる書画芸術と理論の構築は、勿論研鑽を積まれた結果ではあるが、先生自身の強い探求心と愛着心、エネルギーシユな行動力に端を発してのものと講演を聴きながら感じたことである。

これからも、数々の作品や良寛を通して過去から現在、現在から未来へと創造豊かな想いを繋げていただきたい。

本町をはじめ、各地での企画展はそれぞれの考えや工夫を凝らしたものに違いはない。観たり聴いたりしても理解が十分得られないこともあるが、設営する関係者の努力のお陰で、広く文化・芸術の世界へ誘ってもらえるのだと、あらためて有難い気持ちが募った。

今月の一句



西の越句会

はげ

空と海青さ競える鯨日和

羽黒町

太古誠一

夫の名の残る算盤葛かづら

川西 遠藤比呂女

越後出雲崎 渚会

老蚕の強がり吐ける秋の潮

尼瀬 齊藤凡太

書類積むいざよふ月に言い訳し

大門 栗本 君

出雲崎小学校児童の俳句

学校の柿もきれいに色づいた

四年生 小林 瑞季

日本海秋のひざしがてらしてる

四年生 山田 聖矢

まんまるで小さいぶどうかわいいな

五年生 安達 結羽

かきの色夕日の色がてりつける

五年生 関本 もか

秋になり旬の果物食べたいな

六年生 円山 拓海

オレンジにそまる夕暮れ柿の秋

六年生 末武 柑菜



ウォーキングで健康に ～第11回町民ウォーキング大会～



10月1日(日)、新潟県認定ウォーキングコース「出雲崎シーサイドコース」を舞台に第11回町民ウォーキング大会を開催しました。当日は晴天に恵まれ66名の参加者は距離ごとに3コースに分かれて秋空の下ウォーキングを楽しみました。これまでとは反対に海側の歩道を尼瀬から井鼻方向へ歩くことで弥彦山と日本海という構図を存分に楽しむことができました。

スポーツの秋真っ盛り。ウォーキングを皮切りにいろいろなスポーツに挑戦してみましょう！

スポーツの秋本番！～第36回町内ゲートボール大会～



10月4日(水)、第36回町民ゲートボール大会を開催しました。町内から9チームが参加した今大会では優勝を目指して白熱した頭脳戦が繰り広げられました。

決勝戦では最後までどちらが勝つかわからない接戦となり、プレーごとに歓声が上がると、見事五ヶ字チームが優勝を手に入れました。

☆優勝☆ 五ヶ字 ○準優勝○ 小木ノ城 C
◇第3位◇ 西越 B、天領 A

新潟大学と連携講座 ～さわやかスポーツ教室～



9月26日(火)、さわやかスポーツ教室の参加者を対象に新潟大学と連携して「体力測定会」を開催しました。新潟大学の学生の皆さんから測定に来ていただき、イスから立ち上がる時の重心の変化や反応時間などを測定しました。日頃の運動の成果を図ることで次への励みになることと思います。

10月は恒例のさわやかウォーキングが待っています。ぜひ参加して秋の出雲崎を楽しんでください。教室では途中からの参加も大歓迎です。興味のある方は町民体育館までご連絡ください。(TEL 78-4700)

10月の「トレーニング教室」日程 10/18, 25 毎週水曜日 19:30～21:00